

安政の開国後に開かれた外国人居留地は、華やかな異文化交流の場になりました。
古写真研究のスペシャリスト 姫野順一氏、長崎の居留地研究の第一人者
ブライアン・バークガフニ氏、長崎居留地研究会の方々のお話を通して
長崎の豊かな歴史と文化に触れてみませんか。



姫野 順一

長崎外国語大学特任教授
長崎居留地研究会会長
長崎大学名誉教授



ブライアン・
バークガフニ

長崎総合科学大学教授
長崎居留地研究会副会長
グラバー園名誉園長

長崎居留地の歴史と文化

2018年 9月23日（日） 13:00～16:00（開場 12:30）

基調講演 13:10～13:55

「長崎居留地の秘話」 ブライアン・バークガフニ

ミニトーク① 14:00～14:15

「居留地の今昔写真」 川野 紘二

ミニトーク② 14:15～14:30

「英字新聞に見る船舶情報」 木下 孝

トークセッション 14:40～15:50

「長崎居留地の意義をめぐって」

姫野 順一 ブライアン・バークガフニ 中島 恭子(コーディネーター)

場 所:長崎市立図書館 多目的ホール

定 員:120名

申 込:図書館カウンター または 電話(095-829-4946)

参 加:無料

共 催:長崎居留地研究会・長崎市立図書館